

# 2014～15 年度 グローバル補助金活用プロジェクト《水の浄化装置設置》事業実施

## D3330 カンチャナブリーRCとのGGP完成引渡式現地視察報告

ロータリー財団・米山委員長 河崎 高麗男

平成27年3月3日（火）から3月6日（金）の日程で旭川モーニングRC、GGプロジェクトチーム・リーダー竹澤元男国際奉仕委員長、飛弾野正幸奉仕プロジェクト委員長、竹村陽子会員組織委員長、笹川和廣広報委員長、ロータリー財団の私、河崎高麗男の5名によるD3330カンチャナブリーRCとのGGプロジェクト（水浄化装置設置）水と衛生GG1524113完成引渡式現地訪問視察報告を致します。

我が旭川モーニングRCは永年、環境問題と水資源をテーマに取り組み、特に地域住民の憩いの場である千鳥が池の水の浄化運動と浄化広報にと社会奉仕活動に取り組んできました。今年度は国際社会奉仕活動への取り組みを検討していた時2500地区と3330地区での水の浄化装置



スワンナプーム空港で出迎えを受ける

設置GGPの話があり早速取り組み始め2月末にプロジェクトが完成、GGP完成引渡式に現地訪問をする事に致しました。初日3月3日（火）旭川駅発6:45分のJRで出発、千歳発10:55でバンコクへ飛行時間約8時間2時間の時差があり、夕方17:00頃にバンコク・スワンナプーム国際空港に到着。リーダー・チャッター氏とウイー会長、通訳のツイさんらに出迎えられ、一路カンチャナブリー（約140

km）へとワゴン車で2時間100km超のスピードで走行、途中レストランでPG Somphop氏を始めとしたメンバーやD3330のスタッフ2名により歓迎晩さん会をして頂きました。

その後1日目の宿泊先Prelude hotelにて一泊、外見は素晴らしいリゾートホテルでした。

カンチャナブリー県は13の郡に分かれ、その下に98の町と887の村があり今回訪問したのはサンクラブリー郡の小学校2校とトーンパープーム郡の小中学校2校の4施設を訪問した。



2日目の3月4日は早朝5:00には起きて出発の準備、リーダーであるチャッターとD3330スタッフと



共に朝食を取り、8:00 にホテルを出発、(サンクラブリーはミャンマーとの国境街バンコクからは6時間の場所) 本日の目的地サンクラブリー群の Hualapai School(小学校生徒数 700 名余) (約 250 km) に 3.5 時間をかけて到着、昼食後、13:00 より G G プロジェクト水の浄化装置



設置完成引渡しセレモニーでは、小中学生によるタイ・ミャンマーの伝統の歓迎の踊りで始まり、カーンチャナブリーRCの奨学金事業と合わせて行われたセレモニー、浄水器のテープカット

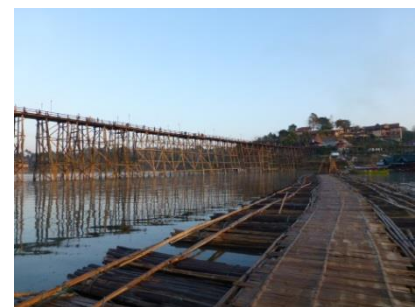


にリーダー竹澤元男国際奉仕委員長が浄水器のスイッチを入れ浄化装置が稼働され、思わず私とチャッターはG Gの完成

思わず握手をしたチャッターと私

に握手をして居りました。生徒さんの G G 1524113 の完成と感謝の言葉が述べられ、特に印象に残った言葉が『自分達の山の水は腐って濁っている、こんなに透き通った綺麗で美味しい水が飲めることに嬉しく感謝している』と言われ、G G P 支援が出来た事にロータリー財団の活動の素晴らしさを感じ取ったものであります。私達はこの山間の地域に小川もなく水が無いことに疑問を持ち聞いた処、周りの山々は岩山で平地も岩盤で井戸を掘る事が出来ないそうです。水は近くにダム湖がありそこから給水しているとの事でした。その水は緑青黒い色をしており透明度のないもので日中の温度が 35℃~40℃と気温が高く流れの穏やかな川、水が腐っているとの表現した生徒さんの感謝の言葉の意味を理解するものでした。セレモニーが終わり生徒さん達と別れ2時間ほど走りサンクラブリーの宿泊先

Mukai resort hotel に 17:00 ころ到着、ソングリア川に架かるタイの木造の橋(全長 850m) タイで最も長い橋 Mon bridge (世界で2番目) のすぐ近くにあり、早速散策、車は渡れないがサンクラブリー市街とモン族の村を結ぶ橋としてシンボリック的で、



観光客で賑わっていました。また地元の子供たちは水に浮かぶ竹の橋から黒い川に、はしゃぎ

泳ぎ楽しんでいる姿を見る事が出来ました。18:00 より歓迎セレモニーが行なわれ Hualapai School、と Wet Wangwiwakaram School の子供達が大勢でプロ並みの踊りで



で歓迎を受け大変感動させて頂きました。他の宿泊者の皆さんも交えて大変喜んで頂きました。

3日目5日の朝も5:00頃起き Mon bridgeの朝はお坊さんの托鉢があると聞き散策、道の両端にはお布施セットやご飯・お花などの店で賑わって居り、人々はお布施を持ち並び先頭の偉いお坊さんから順番にお布施を捧げる様子などMon bridgeを渡りモン族の村を見てきました。朝食後8:00にホテルを出発し、1時間ほど走り本日の目的地、Wet Wangwiwakaram School(中学校生徒数1,000名余)のGGプロジェクト水の浄化装置設置完成引渡しセレモニー



ーに出席しました。ここの学校でも生徒さんの歓迎の音楽と舞踊で迎えられ、前日と同じような行事の中テープカットと共に飛弾野正幸奉仕プロジェクト委員長のGGプロジェクト浄化装置スイッチの入力



があり稼働されました。この学校の水の設備は、水は川からと雨水を利用、校舎の屋根すべてに雨といを付けてコンクリートの柵に雨水を取汲んでいました。



そのタンクが真っ黒にかびており自分達には大変不衛生に思えるが生徒達は何の抵抗もなく飲んでる水なのです。

その後トーンパーブーム郡の

Hindan School と Dong kung school の 2か所の学校の浄化設備

状況を視察してきました。子供たちが飛び回りタンクの蛇口を開きコップに注ぎ美味しそうに飲んで皆嬉しそうな笑顔を見て感動。また2時間ほど掛けてカーンチャナブリーへ、ホテルに着いた処、宿泊はクウェー川に浮かぶ宿泊施設で



した。夜は川に浮かぶレストランでのカーンチャナブリーRC例会歓送迎会、食事を楽しんでいたと



ころ小さなモーターボートに牽引され遊覧船となりクウェー川をゆったり走行、あの第二次世界大戦を題材にした映画「戦場にかける橋」を眺め、例会ではカーンチャナブリーRC作成のTシャツをお土産に頂き、無事タイ国カーンチャナブリーRCとのGG

プロジェクト(水浄化装置設置) GG1524113 完成引渡し式現地視察を終了致しました。

財団の補助金を通じて、当クラブは「世界で良い事をしよう」標語の下に人道的プログラム・水と衛生・人々の健康状態の改善と取り組んでカーンチャナブリーRCと共に県8つの群に13の小中学校に水の浄化装置を設置し、学校生徒周辺の地域住民にも恩恵を与えられる事業に大変な感動と感謝を頂きました。現地訪問してまだまだ日本では理解できない環境がありロータリー財団の活動が如何に素晴らしいものかを現地視察を得て理解できた事に感謝と共にこれから財団支援GGプロジェクトに力を尽くして行きたいと思えます。

タイ・カーンチャナブリー ◎GG1524113 実施場所



現地視察を終え6日朝はのんびりと9:00にホテルを出発、カーンチャナブリーからバンコクへの途中改めてクウェー川に掛る鉄橋を見学、また鉄橋建設での犠牲者の慰霊碑に手を合わせご冥福をお祈りして参りました。又、D3330地区大会もバンコクでありその雰囲気も感じてきました。

